

社会人のための情報システム誌  
— 経営近代化のシステム研究 —

# Computer Report

# 11

2016 No.746

## 3 はじめの言葉

### 4 人間の情報能力とは

Intelligence化する力である

田原文夫

情報処理の元になるデータ／情報が「Information」である。「Information」をベースにして人間は情報処理をし、「Intelligence」を創り出す。情報処理の醍醐味とは、まさに「Intelligence」を創り出す人間の能力にあると言っていいかもしれない。公器を標榜するマスコミ紙誌が「中立性」を強調する時がある。しかし、中立かどうかの判断こそが「Intelligence」であって、したがって、絶対的な中立などということはない。少なくとも、そう考えておくべきである。データ／情報と同様に、ひとつの事象にどういう判断を下すか。これが「Intelligence」である。

## 10 情報社会を考える その74

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

### 浮かび上がる「闇」

情報社会の要諦は情報公開である。小池都知事のキャッチコピーを待つまでもない。公の機関である以上、国の政府機関も地方自治体も、それに準ずるあらゆる団体／組織も、情報公開は基本中の基本事項である。今話題の中心になっている東京五輪組織委員会だって、間違いなく、そうである。国／東京都の金すなわち税金を原始として使う限り、限りなく透明な情報公開が義務である。大もめに揉めている 2020 年の五輪会場の見直し論の中で、IOC 委員長までが乗り出して、「4 者会談」なるものまで提案されている。しかし、この期に及んでもなお、人気限りなく良くなかった元総理の森喜朗五輪組織委員長は、この 4 者会談の非公開を持ち出してきている。

## 12 オープンガバメント OG 35

情報社会をすすめる その69

水田 浩

1990 年代に紙によるワークフローをデジタルにして、メインフレームと端末を使って事務系、技術系で個別に行われるようになり、1995 年代にはインターネットが世界中で使えるようになってきた。そして、個別に開発されたシステムをより早く、より安く、より良くつかうために製品やシステムのライフサイクル全体の統合化を模索するようになっていた。そして、産業別、国別のシステムとデータを世界共通にしてより生産性の高いビジネスをするために、世界共通の情報基盤を作らなければならないという認識が世界中で起こっていた。そこで、CALS の一つの製品、システム、サービスを全ライフサイクルで、「情報は一度つくって、幾度も使う」という運動は世界規模で受け入れられた。一つ

の CALS という概念（言葉）で 1995 年から 2005 年に掛けて世界中が一つになって運動を起こすようになった。

## 1 8 連載 アーキテクチャ論 (67)

### 適応型システムアーキテクチャ開発手法

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 大学院 情報科学研究科 教授

連載 61 回[1]では、適応型 EA について紹介した [1,2,3]。今回は、Pimentel ら[4]による要求モデルを用いた適応型システムのためのソフトウェアアーキテクチャモデル開発手法について概観しよう。

## 2 6 連載 日本再生と人材育成

### 人口減少／少子高齢化時代への挑戦 その 2 2

#### 【最終章】「情報と人材」をテーマに生きた活動歴（その 1）

Dr.ベスト

マルチ人間、スーパー人間などと呼ばれるほどの者ではないが、高度成長時代からバブル崩壊～そして今日に至るまで 4 回の定年退職（1 回目：企業の早期退職制度に基づく退職（52 才）、2 回目：同企業の関連会社における定年退職（60 才）、3 回目：某大学における定年退職（65 才）、4 回目：別の大学における定年退職（70 才））を経験しながらも「情報と人材」をテーマに働き続けてきた男がいる。聖路加国際病院名誉院長などを務められる医師・医学博士の日野原重明先生（100 才を超えてもなお現役）に比較すると、その足元にも及ばない話ではあるが、その男の生き方は人口減少／少子高齢化時代への対応（挑戦）に何らかのヒントを与えることができるのではないかと思ひ、その男の半生を「私の履歴書」的に紹介させていただいた。その最終に当たり、今一度その生き方を振り返ってみたい。

## 3 5 IT 新時代とパラダイム・シフト

### 第 8 4 回 SNS 動画時代の到来を象徴した

#### PPAP の世界的ヒット

根本忠明

ピコ太郎の「PPAP」動画が YouTube に投稿され、世界的なヒットになっている。SNS 動画時代の到来を象徴する事件である。PC やスマホで簡単に動画配信できるようになった。オリジナル版が注目されると、それをネタに沢山の派生動画が世界各地から投稿され、PPAP 関連の動画でお祭り騒ぎになっている。SNS 動画時代は、国内だけでなく世界をも視野に入れて、動画発信を目指す時代であることを、PPAP の成功は示唆している。

## 3 9 続インテリジェンスへのいざない 82

### トップ品格の証明

#### ポピュリズムからリーダーシップか

今井 武

国民の圧倒的支持率を誇るドゥテルテフィリピン大統領が来日した。日本は、超人気の低かった元総理大臣が、4 年後のオリンピック組織委員会会長として君臨している。ポピュリズム＝大衆迎合という言葉の使い方は難しいが、人気の無い人間の立ち居振る舞いも困る。

## 4 2 連載 四字熟語カトレーニング

すぎやまチヒロ

## セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における  
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで  
株式会社 日本経営科学研究所  
ComputerReport編集部

[cr-info@jmsi.co.jp](mailto:cr-info@jmsi.co.jp)

# CR 選書のご案内

**CR選書**

**改訂版**  
**データ・ウェアハウス**

定価 本体 2,816円＋税 送料(〒300) A5版 289頁

石井 義興 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

|                                   |                                   |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 第一章 目録が必要としているデータ                 | 第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスのサポート |
| 第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの相違点         | 第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール        |
| 第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス              | 第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール      |
| 第四章 リレーショナル・モデルとネステッド・リレーショナル・モデル | 第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション        |
| 第五章 正規化の問題点とデータ・ウェアハウス            |                                   |
| 第六章 データ・ウェアハウス管理システム              | 付録                                |

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**実践データ・ウェアハウス OLAP**

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300) A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

|                              |                        |
|------------------------------|------------------------|
| 第一章 これまでのEUCIでできなかったこと       | 第七章 多次元データベースを作る       |
| 第二章 OLAPの定義                  | 第八章 多次元データベースの構造       |
| 第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール | 第九章 多次元データベースとアプリケーション |
| 第四章 分析処理の歴史                  | 第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド  |
| 第五章 OLAP(多次元データベース)の形        | 第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ |
| 第六章 データウェアハウスとOLAP           | 付録                     |

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

**消費者行動論**

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300) A4版 181頁

田原文夫 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

|                   |                        |
|-------------------|------------------------|
| 第一章 消費者行動論        | 第四章 消費者意志決定            |
| 第二章 消費者行動と心理的決定要素 | 第五章 消費者行動トピックス         |
| 第三章 消費者行動と社会的決定要素 | 第六章 人間であること(人間行動トピックス) |

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

aism 研究活動報告  
**インターネットセキュリティの 落とし穴**

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300) A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修  
aism情報セキュリティ・マシントリプル研究会 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

|                               |                             |
|-------------------------------|-----------------------------|
| 第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー      | 第十一章 WORM、KLEZの監視と駆除記       |
| 第二章 aism情報セキュリティマシントリプル研究会の発足 | 第十二章 メールが通らない               |
| 第三章 認知される電子署名方式の基本原則          | 第十三章 生体ネット運用のための 情報オーナーの建設  |
| 第四章 世界を駆けめぐったCodeRedワーム       | 第十四章 最近のインターネット防衛戦線心得       |
| 第五章 情報システムにおけるリスク             | 第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策  |
| 第六章 情報漏洩対策                    | 第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育    |
| 第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)    | 第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」    |
| 第八章 aismの2016年度の事業計画          | 第十八章 セキュリティポリシー作成にあたってのノウハウ |
| 第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題       |                             |
| 第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス       |                             |

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

エンタープライズ情報システム設計の基本書！  
**トップ主導の 情報システム革新**

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300) A4版 271頁

高田 顯重 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

|                         |                   |
|-------------------------|-------------------|
| 第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題 | 第五章 情報システム監査      |
| 第二章 経営活動と情報システム         | 第六章 情報システム部門の体制革新 |
| 第三章 経営情報システム革新の方向       | 第七章 情報システムの成果評価   |
| 第四章 トップ主導の情報システム開発      | 第八章 変化対応のシステム作り   |

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**計量モデルの構造と解法**  
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300) A4版 213頁

安田 聖 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

|                       |                  |
|-----------------------|------------------|
| 第一部 計量モデル             | 第二部 大規模モデルの効率的解法 |
| 第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史 | 第五章 計量モデルの分解方法   |
| 第二章 線形計量モデルの解法        | 第六章 方型式のオーダーリング  |
| 第三章 非線形計量モデルの解法       | 第七章 大規模モデルの解法    |
| 第四章 反復法の問題点           | 第八章 スパース         |
| 付録・電子計算機の高速化と計量方法     |                  |

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

『いざ！というときの得広報』  
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,748円＋税 送料(〒300) A5版 228頁

加藤 洋一 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

|                      |                          |
|----------------------|--------------------------|
| ■ 広報ビジネスの前提条件        | ■ 売れない企業体質               |
| ■ ニュースリリースは東方向運賃     | ■ 守るも攻めるも広報が窓口           |
| ■ 活字媒体の特性をチェックする     | ■ あなたならどう対応する「事例編」       |
| ■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック | <付> 記事とうまく付き合うための鉄則(まとめ) |

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**ザ・ワールドリンク**  
がんばれ、国際グローバルサーバー—  
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,848円＋税 送料(〒300) A5版 268頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

|                      |                          |
|----------------------|--------------------------|
| 第一章 発端               | 第十一章 日本開港手続の違い           |
| 第二章 あるプロジェクト         | 第十二章 米軍チーム乗組の危機          |
| 第三章 新しいシステムへの働き      | 第十三章 新たな仲間               |
| 第四章 WOOIに向けて         | 第十四章 米軍乗組所帯と新たな組み        |
| 第五章 FJO、IBM競争        | 第十五章 開港手続とハンタツ           |
| 第六章 日本プロジェクトチームの発足   | 第十六章 ユーザー教育              |
| 第七章 プロジェクト開始         | 第十七章 日本運用体制と本番乗組員        |
| 第八章 米軍チーム立ち上りの流れ     | 第十八章 既存システムとのデータ交換の問題    |
| 第九章 大きな壁、英語コミュニケーション | 第十九章 乗組員の一日、訓練、直後の苦しみ    |
| 第十章 米軍チーム、異なる三人組     | 第二十章 乗組員の二 安室乗組と北米センター乗組 |

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)